

「木製地球儀」及び「木製楯」について

1 木製地球儀について

「木製地球儀」は、21世紀最初の全国植樹祭となった第52回山梨大会の際に、21世紀は地球環境の時代であり、森林・林業がさらに重要な役割を担うということをイメージして製作され、以降、全国植樹祭のシンボルとして、開催県に引き継がれています。

地球儀の3枚の葉は、「国民」「企業」「行政」が一丸となって地球環境問題に取り組むことを表現しています。

高さ：60cm 幅：50cm 重さ：14.7kg



2 木製楯について

「木製楯」は、第73回全国植樹祭の開催を記念して県産材により製作したものです。

大会シンボルマークを岩手県の33市町村のピースが環状に取り囲むデザインは、「緑の循環」と「市町村の連携・連帯」を表します。

巡回を進めながら、各市町村が、緑の市町村のピースをはめ込み、全市町村の巡回を終えた時に、全市町村による共同製作の木製楯が完成します。

完成した木製楯は、全国植樹祭当日に展示を行うほか、大会後は全国植樹祭のレガシーとして「いわての森林の感謝祭」等で活用する予定です。

高さ：65.4cm 幅：48cm

